

## 編集後記

『語文と教育』第三十六号をお届けいたします。

令和四年三月をもちまして、国語教育担当の村井万里子先生が退職されました。令和三年度の学会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が叶いませんでしたが、学内関係者のみで村井万里子先生特別講演会「国語教育の実践と基礎論を求めて」を開催いたしました。村井先生はびっしりと付箋を貼り、書き込みをされた本を何冊も持参され、「わかっていて」という思い込みはいけない、「教科書に載っているという理由だけで教材を教えてはいけない」と、柔らかな語り口ながらも厳しく学習者（教員を含む）への警鐘を鳴らされました。昨今、「学び続ける教員」が期待されていますが、村井先生は常日頃より学部生、院生、教員に、率先して学び続ける姿をお見せくださいました。そして、教材への理解を反映した音読の実践によって、教壇に立つ者としての姿を体現してくださいました。村井先生にお教えいただいた多くのことを今後の教育に生かしていきたいと思います。

また、本年三月をもちまして、近現代文学担当の黒田俊太郎先生が転出されました。平成二十四年のご着任以来

黒田先生から鋭く的確なご指導を受けた多くの学部生・院生は、文学の読解に際して大きな影響を受けたことと思えます。黒田先生の今後の更なるご活躍をお祈り申し上げます。

この三年間、新型コロナウイルスや国語教育コースに所属する教員の減少により、学会の開催を断念しておりますが、学会誌には多くの投稿をいただきました。本号は国語科教育、日本語教育、日本語学の計七編と、書評一編で編集することができました。論考をお寄せくださったみなさまに深く御礼申し上げます。なお、本号掲載論文から本誌三十六頁掲載の「投稿規定」を適用しております。会員のみなさまの最新の教育・研究の成果をお待ちしております。

また、今年度からは本学会の事務局が原卓志先生から平川恵美子に交代となりました。長年本学会を支えてくださった原先生に心から感謝を申し上げます。不慣れで会員のみなさまにはご面倒をおかけしておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、この一年も多くの大学・機関・研究会等より、本学会宛に紀要・会誌等の研究資料をご寄贈いただきました。謹んで感謝申し上げます。大切に保管し、教育・研究に活用させていただきます。（平川記）

## 語文と教育 第三十六号

令和四年十月三十日印刷  
令和四年十月三十日発行  
(非売品)

編集人 鳴門教育大学国語教育学会

発行人 鳴門市鳴門町高島字中島七四八

(〒七七二一八五〇二)

鳴門教育大学大学院

国語科教育実践分野内

鳴門教育大学国語教育学会

会長 余郷 裕次

印刷所 協徳島印刷センター